スズキ、EICMA2026 で
新型「GSX-10R」と新型「SV-7S」を発表



「GSX-10R」



「SV-7S」



スズキ株式会社(以下、「スズキ」)は、11 月 3 日から 8 日までイタリア・ミラノで開催される二輪ショー「EICMA2026（ミラノショー）※1」で、新型「GSX-10R」と新型「SV-7S」を世界初公開しました。GSX-10R は 2027 年夏頃、SV-7S は 2027 年春頃より各国で順次販売を開始します。

※1 プレスデー：11 月 3 日～4 日、一般公開日：11 月 5 日～8 日

■ 新型「GSX-10R」

新型「GSX-10R」は、「FUN. UNLIMITED.」をコンセプトに、あらゆるライダーが日々の通勤から週末のツーリング、サーキット走行まで、幅広いシーンで走る楽しさを追求できる、「GSX シリーズ」に新たに加わったフルカウルのスポーツバイクです。

数々のレースで実績を残してきた GSX-R シリーズの DNA を受け継ぐ「K5 エンジン」を「FUN. UNLIMITED.」のコンセプトに沿うよう最適化し、低中回転域での扱いやすさと高回転域での伸びやかな加速感を両立しています。さらに、コンパクトで軽量な車体や走行シーンに合わせて調整可能なサスペンション、スポーティーな前傾ライディングポジションを可能とするセパレートハンドルに加え、最新のレーシングマシンから着想を得たフロントウィングレットや空力性能を追求したアグレッシブな形状のカウリングを採用することで高い走行性能を実現しました。

また、進化した電子制御システム「S.I.R.S.（スズキインテリジェントライドシステム）」を採用し、スズキ二輪車初となる、旋回中の後輪の横滑りを検知して制御する「スライドコントロールシステム」、上り坂に加え平坦路や下り坂においても停車状態を保持する「ブレーキホールドコントロールシステム」を搭載しました。このほか、高速道路などの長距離走行時にスロットル操作なしで設定速度を維持する「クルーズコントロールシステム」など、スズキ二輪車で最多※2となる計15種類の電子制御機能を搭載し、これまで以上に安心で快適なライディングをサポートします。

さらに、コンパクトな高輝度LEDヘッドランプや、スズキ二輪車初となる、ウインカー作動時に歩行者や他の車両からの被視認性を高める「SGBS（スズキグラウンドビーコンシステム）」に加え、長距離のツーリングにも適した容量18Lの燃料タンク、視認性に優れたカラーTFT液晶メーターを採用し、利便性や安心性を高めています。

デザインは、伝統と革新を融合させたアグレッシブかつ現代的なスタイリングに加え、低く構えた迫力のあるスポーツバイクにふさわしいシルエットが特徴です。ボリュームを持たせて力強さを表現する部分と、スリムに引き締める部分をはっきりと描き分けました。さらに、設計、生産、性能評価の各部門が緊密に連携し、外観のスポーティーさのみならず、優れた空力性能や機能性も兼ね備えたデザインに仕上げています。車体色は、「パールビガーブルー／メタリックミスティックシルバー」、「パールパルスレッド／ソリッドアイアングレー」、「メタリックギャラクシーグレー／グラススパークルブラック」の3色を設定し、幅広いお客様のニーズに応えるカラーラインアップとしました。

※2　2026年11月3日現在

■ 新型「GSX-10R」の主な装備と諸元（欧州仕様）

		GSX-10R	概要
装備	S.I.R.S (スズキ インテリジェント ライドシステム)	SDMS-α （スズキドライブモード セレクターアルファ）	出力特性を3つのモードから選択可能、トラクションコントロール（10段階＋オフ）、リフトリミッター、ロールトルクコントロール、スライドコントロールを統合管理
		双方向クイックシフトシステム	クラッチやスロットルを操作せずにシフトアップ／ダウンが可能
		スズキイージースタートシステム	ワンプッシュでエンジン始動が可能
		ローンチコントロールシステム	発進時の最適な加速のため出力を制御
		エンジンブレーキコントロール システム（3モード＋OFF）	スロットル全閉時のエンジンブレーキの効きを調整
		モーショントラック ブレーキシステム	コーナーへの傾斜時にABSを作動させ、意図したラインのトレースを支援
		ローRPMアシスト	スムーズな発進を補助
		クルーズコントロールシステム	高速道路などでアクセル操作なしで一定速度を維持
		アクティブスピードリミッター	設定した上限速度を超えないよう制御
		スロープディペンデント コントロール	下り坂でのブレーキング時にリアタイヤのリフトを抑制
		ブレーキホールド コントロールシステム	平坦路や下り坂での停車時にも約30秒間リヤブレーキ圧を保持
	灯火類	SGBS （スズキグラウンド ビーコンシステム）	ウインカー作動時に、歩行者や他車両からの被視認性を向上
	メーター	カラーTFT マルチインフォメーション ディスプレイ	スズキライドコネクト+対応
	電源	USB-Cポート	
諸元	全長(㎜)	2,130	
	全幅(㎜)	740	
	全高(㎜)	1,175	
	ホイールベース(㎜)	1,455	
	最低地上高(㎜)	145	
	シート高(㎜)	810	
	装備重量(kg)	214	
	タイヤ(前)	120/70ZR17M/C チューブレス	
	タイヤ(後)	190/55ZR17M/C チューブレス	
	エンジン型式	999㎤水冷4サイクル 直列4気筒DOHCエンジン	
	タンク容量(L)	18	
	燃費(㎞/L)	15.8(WMTC)	
	CO_2排出量(g/㎞)	146	

■　新型「SV-7S」

新型「SV-7S」は、長年世界中で親しまれてきた「SV650」シリーズの「走る楽しさ」を継承しながら、「Easy to Ride, Hard to Forget」をコンセプトに、現代のライダーのニーズにも応える先進装備を採用した、ネイキッドのストリートモデルです。

エンジンは「SV650」シリーズに搭載しているＶツインエンジンに電子制御スロットルを組み合わせ、低回転域での鼓動感や、中回転域の力強い立ち上がりから高回転域までのスムーズな加速を実現しました。また、操作性に優れた幅広のアルミ製テーパーハンドルバー、人間工学に基づき疲労軽減に配慮したシートを採用することで、上体を起こした、ゆとりのある乗車姿勢を可能とし、街乗りからツーリングまで幅広いシーンでの快適な走りを目指しました。

加えて、安心で快適なライディングをサポートする電子制御システム「S.I.R.S.」を採用し、路面状況に応じて後輪の空転を抑制する「トラクションコントロールシステム」や、クラッチレバーの操作なしで素早いシフトチェンジを可能にする「双方向クイックシフトシステム」などを搭載しています。

デザインは、「Clean, Simple and Sporty」をテーマに、クラシカルなデザインと優れた配光性能を両立した丸型 LED ヘッドランプを採用し、スリムで引き締まったプロポーションとモダンで洗練されたスタイリングを表現しました。車体色は、「パールスズキディープブルーNo.4」、「グラススパークルブラック」、「マットソードシルバー／グラススパークルブラック」の 3 色を設定し、幅広いお客様のニーズに応えるカラーラインアップとしました。

■　新型「SV-7S」の主な装備と諸元（欧州仕様）

		SV-7S	概要
装備	S.I.R.S (スズキインテリジェント ライドシステム)	電子制御スロットル	細やかなアクセルワークやコンピューターでの制御が可能
		SDMS (スズキドライブモードセレクター)	出力特性を3つのモードから選択可能
		トラクションコントロール システム (3モード＋OFF)	リヤホイールの空転が感知された時に、エンジン出力を制御
		双方向クイックシフトシステム	クラッチやスロットルを操作せずにシフトアップ／ダウンが可能
		スズキイージースタートシステム	ワンプッシュでエンジン始動が可能
		ローRPMアシスト	スムーズな発進を補助
	ヘッドライト	丸型LEDヘッドランプ	
	メーター	4.2インチカラー TFTディスプレイ	スズキライドコネクト+対応
諸元	全長(㎜)	2,115	
	全幅(㎜)	785	
	全高(㎜)	1,090	
	ホイールベース(㎜)	1,445	
	最低地上高(㎜)	135	
	シート高(㎜)	785	
	装備重量(kg)	200	
	タイヤ(前)	120/70ZR17M/C チューブレス	
	タイヤ(後)	160/60ZR17M/C チューブレス	
	エンジン型式	645㎤水冷4サイクル V型2気筒DOHCエンジン	
	タンク容量(L)	14	
	燃費(km/L)	24.4(WMTC)	
	CO_2排出量(g/km)	96	

■　**スズキ株式会社 代表取締役社長 鈴木俊宏のコメント**

「今回発表した新型『GSX-10R』と新型『SV-7S』は、日常の移動から週末のツーリング、本格的なスポーツライディングまで、より多くのお客様に親しんでいただける扱いやすさや快適性を備えながら、現代のライダーの期待に応える洗練されたスタイリングや先進の電子制御システムなどを盛り込んだモデルです。スズキは今後も、コーポレートスローガンである『By Your Side』のもと、世界中のお客様の豊かなバイクライフに寄り添う魅力的な二輪車をお届けしてまいります。」

以上